

エリザベッタ・ロガイ、色彩の幻想

エリザベッタ・ロガイがもし心理学者なら、おそらくゲシュタルト派であろう。しかし彼女は画家である。しかも、イタリアだけではなくヨーロッパ中で名を知られている画家である。彼女の作品を見ると、目や肌の色合いを通して、いろいろな異なった感覚がお互いに補充しあっているのがすぐわかる。色彩の知的な選択の妙に我を失うような感覚に落ちるが、それが不安を与えるのではなく、むしろ子供が母親に任せきっているような安らかさを伝えてくる。描かれた女性達の繊細なラインに我を忘れつつ、同時にその動きと存在感の強さ、実在感を察知せずにはいられない。それぞれの作品は一つの絵画として見事にまとまっていて、しかも細部には細部のおもしろさが満ちている。ゲシュタルト流の分析をすると、エリザベッタ・ロガイは力強い表現力と見る人の自由な感受性を作品の中でみごとに一体化し、人物と背景の完全な調和に成功したと言えるだろう。

エリザベッタ・ロガイは数年前から愛好家を惹きつけている。作者と鑑賞者が一体になって作品を完成するという相互関係の意識、感受性の交換、絵画が知覚に訴える感動が彼女の作品の魅力だ。彼女の作品はカンヌ(フランス)のメインストリート、クワゼットやフィレンツェのグエルファ宮、ルガーノ(スイス)のアートギャラリー “ル・ラック”、ピエトラサンタのサンタゴスティーノ修道院、外務省官邸、ヴェネツィアのグラン・カフェ “クアドゥリ”などに展示された。このようなプレステージの高い場所ではあっても、知識の少ない鑑賞者でさえ気後れを感じることなく、彼女の作品中に自分の心の奥にある何かが引き出されずにはいないだろう。

エリザベッタ・ロガイの内面の表現力の強さに筆や道具の巧みな使いこなしが加わることにより、この芸術家の全体像が見えてくる。キャンバスにリネン、油絵の具や染料に石灰や粘土。これらはその筆の動きに更に力強さを与える。時には厚紙や新聞の破片などを混ぜてわざとしわや動きの効果を高め、サポートとしてデニム生地を使うなどは全く斬新なアイデアである。このような多彩な発想は芸術と他の世界との絶え間ない混合による。例えば作品の一つ “Astrid” は、ヨーロッパ共同体でイタリアが議長をつとめていた間の公式ワインのラベルを使っている。

エリザベッタ・ロガイは女らしさに満ちた女性だ。この複雑で完全な女性らしさ、丸みのあるライン、多彩さは、一筆ごとに、そして材料の適切な選択により作品の中にあふれてくる。エリザベッタ・ロガイは母であり妻である。同時に姉であり友達であり、何よりも色彩の幻想なのである。

主要な出展

個展：“春の約束” フィレンツェ、グランドホテル 2005年4月18日から5月16日

個展：“力と徳” ピエトラサンタ、サンタゴスティーノ修道院 2004年6月6日から7月4日

個展：ローマ、外務省官邸クラブ 2003年10月14日から24日

個展：“黙想” ヴェネツィア、グラン・カフェ “クアドゥリ” 2003年6月7日から7月7日

個展：“感情” フィレンツェ、グエルファ宮 2002年11月22日から12月2日

共同展：“親密な雰囲気” ルガーノ、アートギャラリー “ル・ラック” 2002年10月3日から18日

個展：“強い感動” カプリ、ホテル・カプリ・パラス 2002年7月21日から28日

アート・カンヌ：“芸術家のサロン” カンヌ、ラ・クワゼ、パレ・デ・フェスティバル 2002年7月4日から7日

共同展：“天使と悪魔” ルガーノ、アートギャラリー “ル・ラック” 2002年5月

個展：“最近の作品” フィレンツェ、ボルゲーゼ宮 2002年3月

個展：“存在の核心” フィレンツェ、サンタマリア・ノヴェッラ薬剤工房 2001年12月

「この画家は取り上げた題材に見事に焦点を合わせ、その巧みな筆使いや色使いで、見る人に絵との親密な感情を作り出すにはいられない。作品はそれほど良く人間の魂の二重の価値を表現している。」

Monica Baldi (下院、外務省委員会)

「心を“貫く”絵。絵に描かれてる眼差しは見る人を貫くようだ。それとも自分の内側を見る目なのかも知れない。描かれている人物は常に自画像であり、まるで深淵を覗き込むようだ。」

Franco Cardini (フィレンツェ大学、歴史家)

「エリザベッタ・ロガイは自分自身だけではなく作品中の人物からも最高のものを求め、しかもそれを得る事に成功している。作者は描いた人物を通して世界中にある問いかけをしている。そこでは絵画という方法が、母性、欲望、後悔、孤独、夢などの意味深く永遠なテーマを表現するために使われているのである。」

Cristina Acidini (フィレンツェ貴石研究所、文化財保護官)

エリザベッタ・ロガイの作品は他にも多くの方々からも賞賛されています。

Pierferdinando Casini (内閣福首相)

Marcello Pera (上院議長)

Carlo Giovanardi (国会連絡省大臣)

Emanuele Filiberto di Savoia (サヴォイア家王子)

Monica Baldi (下院、外務省委員会秘書官)

Vittorio Sgarbi (美術批評家)

Massimo Mallegni (ピエトラサンタ市、市長)

Tommaso Paloscia (美術批評家)

Pier Francesco Listri (美術批評家)

Lidia Kuscar (美術批評家)

Lodovico Gierut (美術批評家)

Maurizio Vanni (美術批評家)

お問い合わせ又はご連絡は以下のところまでお願いします。

Elisabetta Rogai

Tel & Fax: +39-055-363122

www.elisabettarogai.it